

DECORIHASTULA

OYAMA 1961

T S AFFINIS

Genus *Decorihastula* n. g. ムシロタケ属Type species: *Terebra affinis* Gray ムシロタケ

原殻はミガキタケ系，幼層に縦肋があり，次いで縫合下帯を刻点列が区切り，更に螺状彫刻（螺脈・螺状溝）を加え，縫合下帯を区切る溝は肋間で深く刻まれる．主として黄又は白い地色に樺色の模様がある．

本属はシラタケ属とは原殻や幼層の彫刻も色も異なる他，殻形が鋭い円錐形を呈する点でも区別される．

| | |
|--|----------|
| <i>D. affinis</i> (Gray, 1834) | ムシロタケ |
| Syn. <i>Terebra striata</i> Quoy et Gaimard, 1833 (non Basterot, 1825) | |
| <i>D. nebulosa</i> (Sowerby, 1825) | シュマダラギリ |
| <i>D. pertusa</i> (Born, 1778) | キタケノコ |
| <i>D. undulata</i> (Gray, 1834) | コンゴウトクサ |
| <i>D. columellaris</i> (Hinds, 1844) | シロフタスデギリ |

OYAMA VENUS p. 185
1961

Decorihastula Oyama, 1961, Venus 21 (2): 185. Type species, *Terebra affinis* Gray, 1834, recent, Indo-Pacific.

B & C 1987

Decorihastula Oyama, 1961 ムシロタケ属

本属も熱帯性で本邦の黒潮が当る地方には産するが，日本海や瀬戸内海には居ない．どの種も浅海性で，打上げる位の深さに見られる．

D. affinis (Gray, 1834) ムシロタケは熱帯地方から三重県南勢町まで分布し，Tahiti では低潮線附近から，他の地方でも 20 m. 以浅の浅海に棲む．

D. nebulosa (Sowerby, 1825) シュマダラギリは熱帯地方から相模海湾（城ヶ島・初島）及び天草の富岡を北限とし，伊豆ではテングサ平場に見られた．

D. columellaris (Hinds, 1844) シロフタスデギリは熱帯地方から奄美大島と伊豆七島とを北限とし，神津島ではテングサ平場から採集された．

D. marmorata (Deshayes, 1859) ミケイロタケ（黒田）は熱帯地方（インドネシア）に産し，豊後水道沖ノ島からも採集されたと云はれる．

D. "alveolata (Hinds, 1844)" アラムシロタケ（新称）は波部図鑑のフシダカシチクで，台湾海峡に産する．

D. pertusa (Born, 1778) キタケノコは熱帯地方から奄美大島にかけて分布し，奄美大島では数mの砂底に産する．

D. undulata (Gray, 1834) コンゴウトクサは熱帯地方から潮岬まで分布する．奄美大島では深さ数mの砂底に産し，深度の下限は約40m. である．

D. livida (Reeve, 1860) var. タイワントクサは比島から潮岬に分布し，土佐清水では海岸に打上げる．

OYAMA 1961 Venus Vol. 21 p. 185